

まいづるパート II

令和5年度 No.11 校長室だより

通算No.29 (R5. 8.21)

霧島市立国分小学校長

☆ 9月1日は元気に登校してほしい！ ☆

長い長いと思っていた夏休みも、あっという間に残り10日ほどとなりました。子どもの皆さんは、計画的に、そして楽しく夏休みを過ごせていますでしょうか？

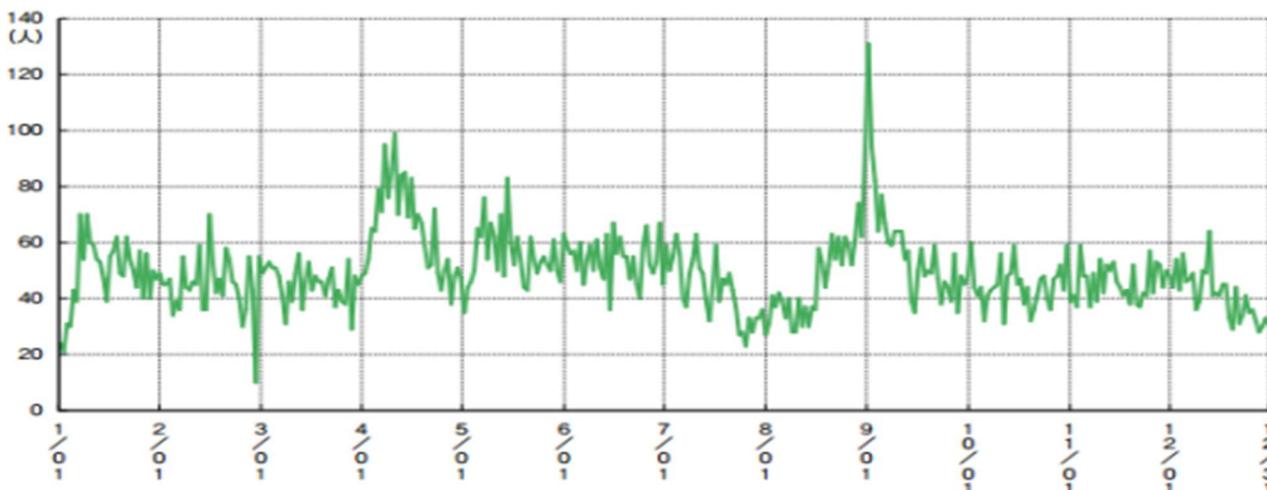
さて、昨年度もお伝えしましたが、この時期に話題になるのが、内閣府が発表した「自殺対策白書」の中の文言で、「18歳以下の子どもたちの自殺者が最も多い日が夏休み明けの9月1日である」です。

古いデータではありますが、平成27年8月に発表された「自殺対策白書」によると、1972～2013年の42年間で自殺した18歳以下の子どもは、合計1万8048人。365日別でみると1日に平均約50人ですが、最も多い9月1日は131人で、平均の2.6倍と突出しています（下図参照）。翌日の9月2日も4番目に多い94人、前日の8月31日も5番目の92人となっています。白書では、夏休み明けのこの時期は「生活環境が大きく変わり、プレッシャーや精神的動揺が生じやすい」と分析しています。また、1学期にいじめや学級の中で孤立していた子が、2学期が始まるのを嫌がり自死に至るケースもあるようです。（自死の原因は、統計的には学業不振が最も多いようですが、家庭にも学校にも居場所を感じていない子どもが多いとの研究・分析もあります。）



↑参考「子供の自殺等の実態分析」(文科省)

第4-5図 18歳以下の日別自殺者数



資料：厚生労働省「人口動態調査」の調査票情報の独自集計

このような悲しいことが起こらないよう、子どもの様子については注意深く見守るとともに、悩みなどをうまく聞き出したり、担任等学校職員にも相談したりしてほしいと思います。

宿題が終わっていないからと言って、叱り飛ばす先生はいないことを伝えてください。また、親から「まだ終わっていないのか！」などと叱られることも子どもにとってはかなりのプレッシャーになってしまいます。子どものために良かれと思って発言した結果が、最悪な状態になってしまったら本末転倒になってしまいます。日頃のコミュニケーションをとる中で、どのような言葉かけが最適なのかを見極めてほしいと思います。

9月1日に、児童全員がニコニコして登校してくるのを楽しみにしています！

☆ お知らせ・お願い ☆

- ・ 児童会が中心となって、**ペットボトルのキャップを収集**することになっています。基本的には第一火曜日の命の教育の日に回収することになっていますが、現状はいつでも受け入れています。夏休み中もキャップを貯め、学校が始まったら持ってきてください。児童玄関に箱を置いてあります。(JRC活動の一環になります。)
- ・ インフルエンザやコロナなどの**感染症**は無くなってはいません。今後も**感染症対策**を継続するとともに、適度な水分補給など**熱中症予防**にも気をつけてほしいと思います。
- ・ 2学期をスムーズにスタートさせるために、これからの10日間ほどで**生活リズム**(特に**早寝・早起き・朝ごはん**)を整えるようにしてください。

学校教育目標「胸を張って堂々と生きる」 青少年赤十字の目標「気づき・考え・実行する」